

筆者の思いを読み深める【比較する】 ベン図

【校種・学年】 中学校第3学年

【教科・領域】 国語科

【実践の概要】

- 1 単元名 六 語りと向き合う『初恋』 島崎藤村
- 2 単元の目標 『初恋』の詩を、同じテーマの他の詩と読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価している。

3 本時の実際

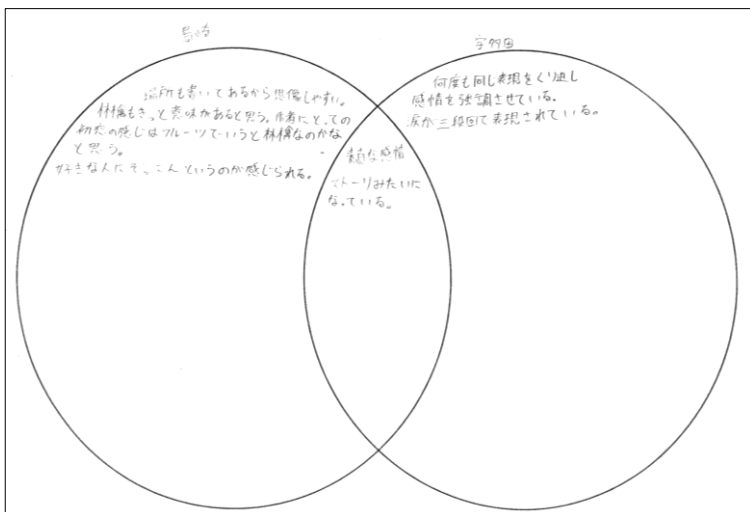
(1) 本時の目標

他の詩と読み比べて共通点や相違点を整理することで、詩や表現に込められた思いを見いだしている。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	○前時の振り返り この詩にはどんな思いが込められているだろう。 ・『初恋』を音読する。 ・宇多田ヒカル『初恋』の曲を聴く。	
展開	○「初恋」と宇多田ヒカル「初恋」を比較して共通点と相違点をベン図に書き出す。(個人思考) ○比較したベン図を使って、それぞれの考えを交流する。(グループ交流)	視点2 (3) 「思考を表現に置き換える」
終末	○比較と交流を通して深まった考えを整理して、詩に込められた作者の思いや表現の特徴を記述する。(個人) ○記述したものを発表する。 この詩は「初恋の○○」を表している。	

4 ツールに見られた思考の姿



5 成果と課題

○文語定型詩という難しい教材だが、読み比べによって興味を高めることができた。ベン図による比較で時代を越えた共通点や当時の特徴も整理され、効果的であった。

■交流においても補助的ツールとして活用できるように、ICTや付箋などを活用する方法も今後考えられる。